

平成 30 年北海道胆振東部地震 写真から見る記録集

地震発生からの記録と記憶 平成 30 年 9 月 6 日 午前 3 時 7 分 59 秒 震度 6 強 (1505 ガル)

【情報共有会議】

朝と夕方の情報共有会議 総合庁舎 総務課内

※出席：全課、国土交通省、警察、気象台、自衛隊



- ① 本部長あいさつ
- ② 各課からの被害等状況報告
道路・水道・電気、救急搬送事案、避難所情報
- ③ 気象台等対向支援からの報告
- ④ 災害ボランティアセンターからの報告
- ⑤ 総務課長よりその他報告

【町民への周知】

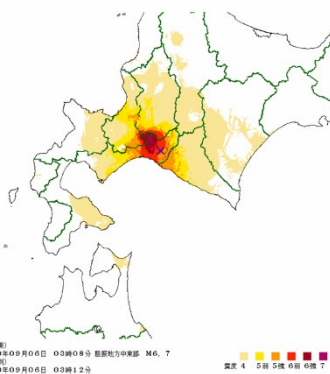
【通常時】

背景がブルーかピンク
色ボタンについては特産品等紹介

【非常時】

背景が赤
色ボタンについては、避難所情報となる。

その他：防災行政無線、広報車、広報号外号（9月～11月までの間 10号発行、12月より通常）



- ・安平町 震度 6 強
- ・追分観測点では、
最大加速度 1,505 ガル
- ・平成 30 年 9 月 6 日以降
最大震度 1 以上 3 2 6 回
安平町で震度 4 以上 1 0 回
(平成 30 年 1 1 月 30 日現在)
- ・平成 31 年 2 月 21 日震度 5 強

【災害対策本部設置までの時間軸】

3:08	情報	地震発生
3:15		総合庁舎開庁
3:25	指示	庁舎内確認及び電話対応 記録班設置(職員来庁・住民対応電話)
3:33	職員	職員メール配信による職員の安否確認、追分在宅総務課職員へ総合支所での対応を指示
3:40		災害対策本部設置(第3非常配備 全職員)
		情報収集並びに各課施設等パトロール 被害の状況により担当職員、消防へ要請 報道統制措置(総務課長から情報発信)

4:10 自衛隊 L O 派遣要請

公式発表 6:00 北海道より北部方面隊派遣

2018 年 09 月 06 日 03 時 08 分

胆振地方中東部 M6.7 気象庁ホームページより

【対策本部・医療班】 総合庁舎 1階



情報共有会議の様子

9/6 3:40 災害対策本部設置

総務課内：指揮室

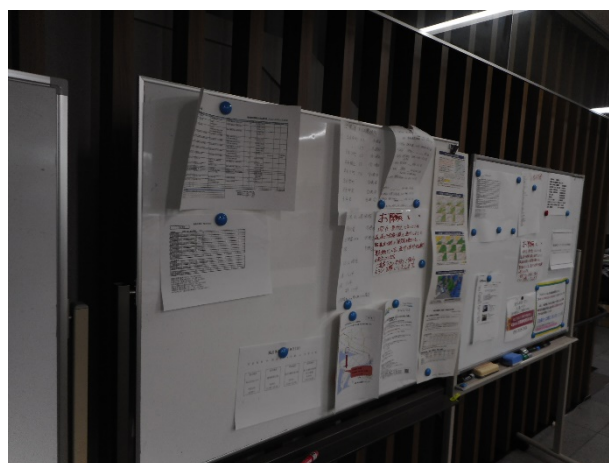
政策推進課内：自衛隊、国土交通省、警察、気象台



対向支援(岩手県リエソン 西島 氏より避難指示等アドバイスを受ける。)



健康福祉課・DMAT T



情報開示（避難所・断水復旧・気象等情報）

【被害の状況】 建物倒壊、山腹崩壊、斜面崩壊、液状化、地割れ、地盤沈下、隆起が起きた。



商店街における被害～安平町商工会



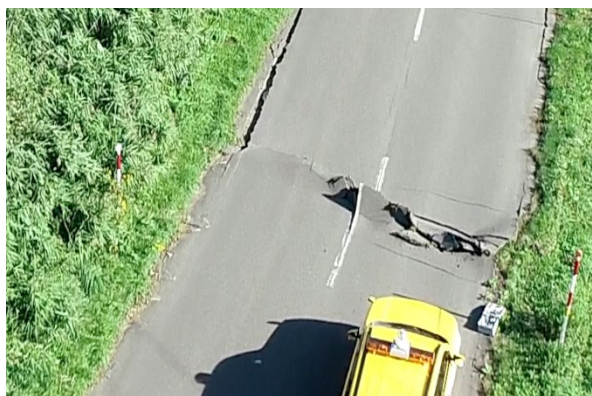
商店街における被害（早来地区）



早来北進特定単身者住宅に迫る土砂崩れ



早来中学校 校庭の地割れ



地震により隆起した道路（早来守田地区）



地震により隆起した下水道管（追分若草地区）



山林の土砂崩れ、道路の地割れ（早来守田・緑丘）

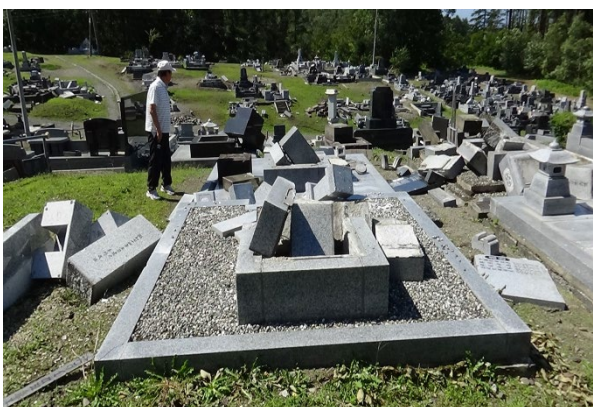


早来守田地区（住宅の下における地割れ）

瑞穂ダム周辺の土砂崩れ（早来瑞穂）



早来大町地区（揺れによる家屋移動）



地震により倒れた墓石（早来地区）

調査によると一部損壊以上 1000 基との報告

【総合庁舎被害】



正面玄関入口（地割れ・沈下）



液状化したときわ球場（早来地区）



既存庁舎裏（のり面 地割れ・膨らみ）

※総合庁舎における被害は地盤沈下により、既存庁舎内において増築した部分で 45mm 沈下した影響で、庁舎内ロスナイ等配管がズレ、天井（水道課、健康福祉課）で水漏れが発生。また、総合庁舎裏ののり面にも地割れが発生し、現在もブルーシートにて応急対応している。増築庁舎前の駐車場においてもロードヒーティング、舗装面も被害があり現在修復中である。



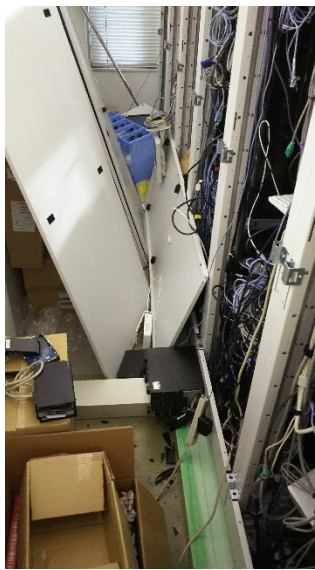
総合庁舎（増築庁舎裏）



総合庁舎（前駐車場沈下）



総合庁舎（議場内）



サーバー室



総合庁舎（既存庁舎 沈下 45mm）



追分小学校付近

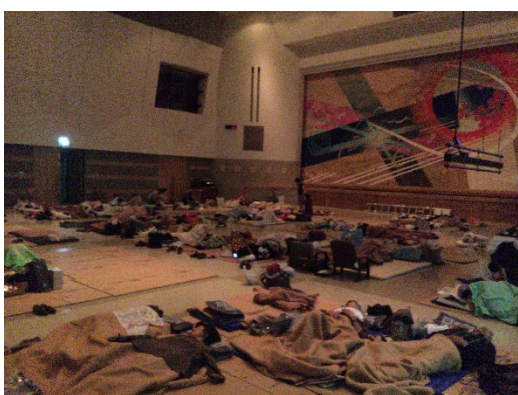


子どものケアによる「あそびのひろば」開設

【避難所の様子】



早来小学校（発災時）



追分公民館（発災時）



追分公民館（ダンボールベット）



町民センター（発災時）



町民センター（ダンボールベット）



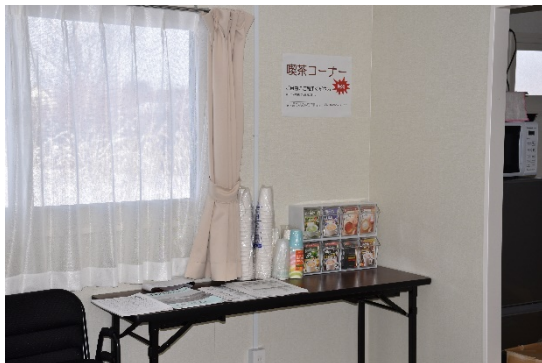
青葉会館（自主避難所として町内会が開設）



【仮設住宅説明会の様子】



仮設住宅抽選会の様子



〈仮設住宅支援〉 灯油 100ℓ (32戸) ピースボード
家電 3品目選択支援 PWJ
談話室内備品 (テレビ等生活用品・物置) ピースボード

仮設住宅談話室内 (ドリンクコーナー: AGF)



仮設店舗 (早来地区 3件)



仮設住宅 (早来地区建設風景) 早来 17戸 追分 13戸



談話室 (追分・早来地区 各1)

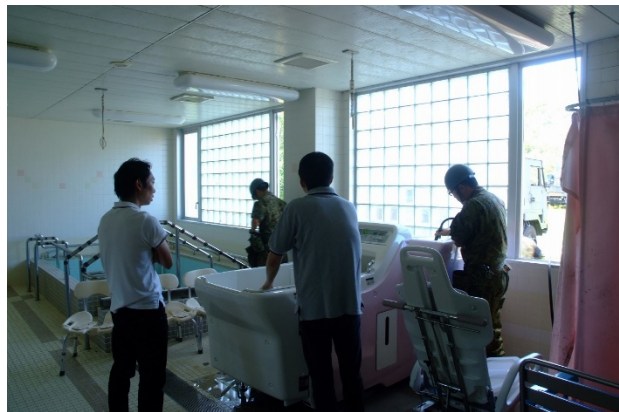


早来中学校仮設校舎

【自衛隊の支援】



医療班派遣支援（渡邊医院）



高齢者施設への給水支援



住宅地への給水支援



入浴支援（町民センター駐車場）



輸送支援（物資補給）



給食支援（炊き出し）

【明るい話題】



早来小学校 8000人の笑顔プロジェクト



4/19 「D51 ステーション」開業

<資料編>

住家調査編 建物被害（安平町）

○住家・非住家被害の状況 全体家屋調査数 7,221 件

9月14日から開始し10月5日までの22日間にてほぼ終了した。要した人員は道内 市町村 400人、岩手県・市町村 360人、新潟県・市町村 368人 延べ1,128人

住家 3,158 棟、非住家 4,055 棟 計 7,213 棟 以降 8 棟については、10月13日で終了した。

り災証明交付時において住家、非住家の区別が確定している。(11/21 現在)

住家被害において2次調査により12/20現在では7,397棟に達した。外観被害より、地域において内部における被害が多かった。



事前研修（実地調査の前段内閣府ガイドラインに沿った研修を実施）

新潟大学 田村教授



事前研修（庁舎を活用し実地研修）

富山大学 井ノ口准教授



調査区域の地図による確認



新潟県・岩手県・北海道応援派遣職員



現場調査の様子



罹災証明書交付時

交付申請書に家屋番号を告げると、システムに登録された家屋被害の部分の写真を確認し、被害区分に納得が行くと交付。内部がひどい等申出により第2次調査に進んだ。